

6月は 増えれば元気 100 倍
加入促進月間
 たくさん仲間を迎えよう!!

2014
 第5号

北多摩東ニュース

都教組北多摩東支部
 電話 (042) 384・2941
 FAX (042) 384・7904
 kita-higasi@mvc.
 biglobe.ne.jp

五月二十三日

支部教研シリーズ「教科書と学力」
子どもにつけたい言葉の力

今年度は小学校教科書採択の年。それぞれの学校や市で、採択に向けた動きが始まっていると思います。そんな今だからこそ、もう一度、「子どもにとっていい教科書とは?」「今、本当につけたい力とは?」について考えようと思った今年度の支部教研。第一回目は、中山和人先生を講師に招き、国語の説明文の読み深め方(一読総合法)、「ぶんちゃんカード」による作文と話すこと・聞くことの学習などについて教えていただきました。

参加者の感想から

最近、「単元を通しての言語活動」とよく言われるようになり、物語文が最終活動に向けての材料となっていることが気になっていました。中山先生の授業を実際に体験して、短い時間内でも深い読み取りができるということを知りました。

(小金井 小学校教員)

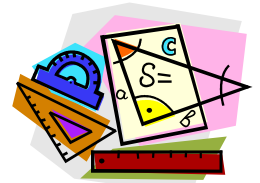
「左」「右」という漢字の書き順の教え方で、「ノエさん」と「ノロウくん」という教え方は、漢字に親しんで勉強できるので、明日以降、児童に教えてあげたいです。

自分の中で、カタカナを意識して勉強したことがなく、軽く見ていましたが、とめ・はね・はらい、筆順に意識して指導することで、漢字につながることを学べてよかったです。

(三鷹 教育実習生)

支部教研シリーズ「教科書と学力」

算数・数学の授業づくり



- 日時 6月20日(金) 18:20~20:20
- 場所 北多摩東教育センター (JR中央線東小金井駅南口 徒歩3分)
- 講師 岩村繁夫さん (町田市立小学校非常勤教諭 数学教育協議会常任幹事)
 著書『いきいき算数4年生』(ひまわり社) 『比例の発見』(太朗次郎社)
 『5分の準備でクイック算数遊び&パズル』(いかだ社) など

算数・数学の授業づくりに悩んでいる先生は必見!

子どもをつまずきに気づき、「わかった!」の笑顔を引き出す授業づくりを学びます。

シリーズ

教え子を再び戦場に送らない③

**集団的自衛権の行使容認に
 広がる反対の世論**

集団的自衛権とは、日本への攻撃がなくても武力行使をすることです。

安倍首相は私的諮問機関の提言を受けて、集団的自衛権の行使容認という憲法解釈の変更しようとしています。そのやり方に対しては反対の声が広がっています。

◆日本ペンクラブ声明 会長 浅田次郎

安倍首相の政治的手法はあまりに乱暴ではないか。国会の議論や閣議決定もしないまま個人的に集めた「諮問機関」なるものを受けて、憲法の解釈と国のあり方を一方的に変更しようとしている。……これら、民主的な手段をまったく踏まない首相の政治的手法は、非常識であり。私たちは到底認めることはできない。

◆朝日新聞 集団的自衛権 首相の進め方適切でない67%

◆毎日新聞 集団的自衛権の解釈変更 反対56%

◆「海外のNGO保護」という口実にも疑問の声

「軍隊と一線を画す」多くのNGO(非政府組織)の基本方針です。中立・公平が人道支援の原則。軍隊と関係があるとみられると、中立性が担保されず危険にさらされてしまう。

日本国際ボランティアセンター代表の声

◆元内閣法制局長官らも「立憲主義の破壊に反対」

立場の違いを超えて「国民安保法懸」が設立されました。

国会での論議でも、その危険なねらいが浮き彫りになっていきます。「海外で武力行使をしない」という憲法の歯止めをなくす、国のあり方の大転換です。

都労連と都側で妥結

夏のボーナス 1.9月分

再任用職員は0.975月分